

平成 25 年度事業計画書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

I. 学術講演事業

第 109 回日本精神神経学会学術総会を実施する。以下、総会の概要である。

- 会 期：平成 25 年 5 月 23 日から 25 日
- 会 場：福岡国際会議場、福岡サンパレスホテル&ホール
- 会 長：神庭 重信 先生（九州大学大学院 医学研究院精神病態医学分野）
- 副会長：中村 純 先生（産業医科大学 医学部精神医学教室）
- テーマ：「世界に誇れる精神医学・医療を築こう：5 疾病に位置づけられて」
- プログラム概要

A. 特別講演

- ・ アフガニスタンに生命の水を 国際医療協力の 30 年
- ・ Mind the gap : Integrate Psychiatry in the World with Both Biological and Non-Biological Approaches
- ・ The Structure and Philosophy of DSM-5
- ・ A road map for WHO's ICD-11: Relevance and Opportunities for Psychiatrists and other Health Professionals in Japan

B. 招待講演

- ・ Research Activities on Disaster Psychiatry in Taiwan
- ・ Non-pharmacological Interventions for Mild Cognitive Impairment and Dementia
- ・ Current Researches and Progress of Mood Disorders in Shanghai Jiao Tong University
- ・ Gain and Loss: The Community-based Psychosis Management Program in China?
- ・ Understanding of Characteristics for Major Depressive Disorder in Korea
- ・ Intellectual and Psychosocial Functioning in Belarusian Persons Exposed in Utero to Radiation Following the Chernobyl Accident in 1986

C. 会長講演

- ・ 精神病理の器質因と心因：脳科学と文化心理学の視点から

D. メインシンポジウム

- ・ 今後の医療計画の見取り図と連携-精神科医と地域連携
- ・ 東日本大震災が精神医療に残したもの-二年が過ぎた今
- ・ 児童から成人へのキャリアオーバーを見据えた精神医学の構築
- ・ 地域における統合失調症医療の新たな展開
- ・ ICD-11 と DSM-5 の最新動向と国際的な診断基準の問題点
- ・ 今後のうつ病医療はいかにあるべきか
- ・ 精神保健福祉法の今後を展望する-保護者制度の廃止を見すえて-
- ・ 他科からみた精神科医療の問題点-より適切な連携体制を目指して

- ・ 精神科医の産業精神保健への理解を深める
- ・ 認知症診療システムの構築と精神医学の貢献
- ・ 精神疾患と自動車運転
- ・ これからの精神科病院

この他、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、市民公開講座、ポスター発表等、多くのプログラムが実施予定である。

II. 機関誌刊行物事業

■ 精神神経学雑誌（和文誌）の発行

第115巻 第4号－第12号および、第116巻 第1号－第3号の12号分（1号あたり10－15論文を掲載）を刊行予定。発行部数は、各号約16,000部である。

また紙媒体の発行と同時期に、全会員が電子版を閲覧することができる。一般の方においても、一部の論文については電子版での閲覧が可能である。また、学術総会シンポジウム発表内容をまとめた「シンポジウム報告集」（電子版）も発行予定である。

■ Psychiatry and Clinical Neurosciences（英文誌）の発行

第67巻 第3号－第8号および、第68巻 第1号－第2号までの8号分（1号あたり約20論文を掲載）を刊行予定。発行部数は、紙媒体としては、各号約400部である。

また、紙媒体の発行と同時期に、全会員が電子版を閲覧することができる。一般の方においても、発行1年後より、全論文の閲覧が可能となる。

上記2誌の定期刊行物の他、以下の委員会・部会より書籍の出版を予定している。

- 教育のあり方検討委員会 精神作業療法部会
- 教育のあり方検討委員会 小児精神医療作業部会
- 教育のあり方検討委員会 司法精神作業部会
- 専門医制度 試験委員会（専門医認定試験 過去問題集）
- 専門医制度 卒後研修委員会

III. 委員会活動事業

本学会基本理念のもと、精神保健・医療・福祉の質的向上に貢献することを委員会活動の基本に置き、学術研究のみならず臨床に関する現実的な課題についても取り組む。委員会活動は以下の6部門から構成され、本年度も幅広く活動を実施する。

- 学術・教育部門
- 専門医制度部門
- 精神保健・医療・福祉部門
- 法・倫理部門

- 広報・国際部門
- 庶務部門

IV. 精神医学・精神医療奨励賞事業及びフォリア賞事業

学会賞を複数設けており、表彰および表彰対象となった論文あるいは活動の講演の場を提供している。

■ 精神医学医療奨励賞事業

A. 精神医学奨励賞

毎年、精神医学の発展のため顕著な業績を上げた若手（40歳以下）の研究者を表彰するもので、評議員（代議員）150名から推薦を受けた論文の筆頭著者を、選考委員長及び副委員長と毎年交代する理事（7～9名）により構成される選考委員会の投票で原則1名を決定する。表彰することで、精神医学の学問的なレベルの向上を図る。

B. 精神医療奨励賞

日本各地で地道に行われている優れた精神医療活動の顕彰および精神医療の発展に寄与した団体・活動を毎年表彰する制度であり、他の地域での活動レベルを向上させる。これも代議員から推薦を受けた候補団体・活動から原則1名（1団体）を選ぶ。

■ フォリア賞事業

フォリア賞は、毎年、当学会英文機関誌、Psychiatry and Clinical Neurosciences 誌（2011年7号発刊、IF:2.133）の中から優秀論文を表彰するもので、PCN編集（副）委員長と編集委員のうち10名程度で組織されたフォリア賞選考部会で原則1名（筆頭著者）を決定する。

V. 国際交流事業

国際交流活動を行うことにより、日本における活動について情報を提供すること、海外における精神医学・医療の発展の状況について情報を得ること、また、今後の本学会の国際交流の基盤となる人的なネットワークを構築することを主な目的とし、具体的には下記のような活動を行う。

- 本学会総会への海外会員の参加受付
- 海外若手精神科医の招聘（JSPN Fellowship Award）
- 日本の若手医師への国際学会発表賞の授与
- 国際学会への会員の派遣
- 日本での国際大会開催の準備

VI. 専門医認定事業

日本精神神経学会の専門医制度は、次のようなあり方を基本指針としている。

1. 精神科専門医制は卒後教育の目的に添い、その改善、推進に益するものであること
2. 精神科専門医制の導入によって精神医療の改善が促進されること

3. 研修内容は、

- (1) 心の病に悩む人に対するすぐれた理解力と共感を持ち、人権尊重の基本理念とその具体的方法を身につける
- (2) 地域社会に開かれた医療サービスの経験を積む
- (3) チーム医療における協調性を重視し、必要に応じてリーダーシップをとりうる存在となる
- (4) informed consent に基づく治療の具体的方法を身につける

以上のような、基本的態度を身につけることを目指す内容とする

本年度もこの基本指針を念頭に置き、具体的には下記のような活動を行う予定である。

- 筆記試験・口答試問を実施し、新たに専門医を認定する
- 専門医の資格更新審査を実施する
- 既存の専門医に対し、専門医資格継続のための研修会を認定し、研修の場を設ける
- 生涯学習活動の推進のため、生涯教育研修会を実施する
- 専門医を目指す研修医が研修を行う認定施設及び認定施設に所属する指導医の資格認定、更新審査を行う
- 専門医を指導する指導医を対象に指導医講習会を年3回実施する
- 若い世代に精神科の素晴らしさ・面白さを知ってもらい、精神科専門医となる人の数を増加させる為、初期研修医等を対象としたサマースクールを実施する

VII. 情報に関する事業

精神医療、精神医学に関する情報は膨大であり、本学会は、その中から精神医療・精神医学に関する提言・意見、または診断や治療に関するガイドラインの策定などを適宜公表することが学術団体としての責務であると考えている。具体的には、本年度は以下のような活動を予定している。

■ 学会ホームページを通じた情報提供

ホームページでは、各委員会活動の研究結果等による情報を「見解・提言・声明／情報資料」と題し、誰でもアクセスが可能な場所に掲載しており、各種の見解やガイドラインを多くの人が見覧できるようになっている。この他、各種雑誌の電子媒体での提供の拡充も進めており、本年度はより幅広い情報を提供する予定である。

■ 会員専用ページを通じた情報提供

会員情報を扱うことが可能な会員専用ページを設け、自身の会員情報管理や各種の会員向け情報が得られる場となっている。本年度より、専門医ポイントを取得できるeラーニングも開始する予定である。

■ 精神医療・精神医学情報センターの設置

会員のみならず、広く国民との精神医療、精神医学に関する情報、知識の双方向性の伝達、交換にも資するために、その拠点として本学会に精神医療・精神医学情報センターを設置する。

以上